

原発もうやめよう

8/12
本報

川内再稼働強行

集中立地・福井から抗議

九州電力川内(せんだい)原発1号機(鹿児島県薩摩川内市)の再稼働が強行された11日、全国最多の15基の原発が集中立地する福井県で「原発ゼロをめざす市民行進」が行われ、参加者からは再稼働への抗議の声が相次ぎました。



行進する県代表委員(最前列左)ら=11日、福井市

東京電力福島第1原発事故発生を受け、原発問題住民運動県連総会が、2011年7月から福井市で取り組んでいる同行進は、50回目を迎えました。福井市の男性(66)は「福島事故も収束していないのに、なぜ再稼働などできるのか」、坂井市の女性(30)は「安全性の議論も不十分だし、国民の多数が反対しているのに、けしからん話です」と語気を強めました。

集会では、川内原発の現地の抗議行動から帰ってきた連絡会の県出番代表委員が「私たちの運動が、圧力になっていく」として、いっそうの奮闘を呼びかけました。

県内では関西電力高浜原発3、4号機(高浜町)の再稼働に向けて手続きが進んでいます。福井地裁は4月、新規制基準自体「合理性を欠く」として

て、この再稼働を認めない仮処分決定を出しました。決定が取り消されれば、再稼働はもつやめよう」と訴えながら行進は同地裁に取り消しを求めています。審判が9月3日に開かれます。

参加者からは「危険な原発は、もうやめよう」と訴えながら行進しました。

国民危険にさらさない

名古屋 再稼働抗議の緊急行動

原発問題愛知県連連絡センターは11日、名古屋市中区のデパート前で川内原発1号機を再稼働したことを受け、抗議宣伝を行いました。緊急の呼びかけにもかかわらず40人が参加しました。

日本共産党の、すやま初美参院愛知選挙区候補、わしの恵子県議、岡田ゆき子、西山あさみ、柴田民雄の各市議が駆けつけました。

リレートークで同センターの三枝博明代表委員らが「福島原発事故の原因究明は途上であり収束はほど遠い。『安全性が確認された』として再稼働はだめ。『原発なしでも電力は足りている。経済性優先で国民を危険にさらしてはならない』と訴えました。

宣伝後、参加者は自民党県連、中部経済産業局にむけてアピールウォークし、自民党県連前で「原発再稼働反対」「原発なくせ」と抗議の声をあげ、中部経済産業局では経済産業省の宮沢洋一大臣あての抗議文を手渡ししました。

再稼働許さない
長野県松本
長野県の松本駅前前で10日夕、九州電力川内原発の「再稼働を許さない緊急アクション」が行われました。緊急のよびかけにもかかわらず次々と増え、70人余が参加。楽器に合わせたのコールでアピールしました。

集会には「サラバ原発 変えよう暮らし方」の会など市民団体や労働組合などが参加している。脱原発信州ネットワーク・松本が主催し、西村忠彦さんが主催者あいさつ。4月から松本市に住んでいる小出裕章元京都大学原子炉研究所助教と福島県から4年前に松本市に避難してきた人がスピーチしました。

「噴火止めますか?」「原発止めますか?」「電気は足りてる。変だよ! ダメです!」「原発再稼働」などのメッセージボードを持参しての参加者も。職場の知人に誘われて初参加した女性は、「助かす必要のないのにな」と話していました。

反対の声聞いて
富山
原発をなくす富山県連絡会準備会と富山県平和運動センターは10日夕、富山市のCIC前広場で「川内原発再稼働8・10緊急抗議富山集会」を開きました。

開会あいさつで増川利博県労連議長は、川内原発の地元で6割の住民が再稼働に反対し、被爆者団体も反対しているのに、「世界で最も厳しい安全基準」とウソをついて再稼働を強行しようとする安倍首相を批判。再稼働反対の圧倒的な世論で安倍政権を追いっめようと呼びました。

日本共産党の高橋わたる県書記長(参院富山選挙区候補)と社会民主党の岡崎信也県議があいさつ。高橋氏は、「戦争法案の衆院強行採決のように国民の声を無視して再稼働を強行する安倍政権を一日も早く退陣に追い

込もう」と呼びかけました。

集会後、150人の参加者は、「川内原発再稼働反対」「すべて原発は廃炉にせよ!」などと唱和しながら目抜き通りを行進しました。